

北京地下鉄 15 号線 22 編成増車案件 受注

2022 年 8 月 18 日

日本信号株式会社

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）の 100% 子会社である、北京日信安通貿易有限公司（本社：北京市海淀区首都体育館南路 6 号、董事長：大島秀夫、以下、「北京日信」）は、北京市地鉄運営有限公司（本社：中国・北京）より、北京地下鉄 15 号線 22 編成増車案件を受注しました。

当社は、車上信号設備装置（22 編成）として「SPARCS」（当社製 CBT C※）車上装置を供給いたします。

北京地下鉄 15 号線は、2011 年に当社製 CBT C にて開業、全線 38.3 km、17 駅、全 34 編成にて、開業以来順調に運行されております。同路線では近年、利用者の増加により、運転時隔短縮の需要が高まり、今回の増車案件の受注となりました。

海外諸国で積み上げた経験を活かし、北京の快適で安全な街づくりに貢献してまいります。



以 上

※ CBT C：Communication Based Train Control の略。無線により地上、列車を制御および防護するシステム。一般的なシステムと比較し、約 70% の CO2 削減が期待できる。

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 13 階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp